



和知小だより



《学校の教育目標》 心豊かでたくましい実践力をもつ子

平成29年9月29日

和知小の仲間の一人であること

校長 加藤 辰司

雨予報で心配しましたが、9月23日(土)に運動会を予定通り無事開催することができました。当日は、保護者の皆様はもちろん、来賓並びに地域の皆様に多数ご臨席を賜り、誠にありがとうございました。紙面で失礼ではありますが、改めて厚く御礼申し上げます。

今年の運動会のスローガンは「団結」でした。大変シンプルではありますが、今の和知小学校が目指している方向にふさわしいスローガンでした。そして、実際の子どもたちの姿は、こちらの期待を遙かに上回るものでした。



どの学年の競技も子どもたちの頑張りが見られましたが、例えば5年生の「声・脚・力を合わせて！」の二人三脚では、三本勝負という過酷なルールで、しかも三本目までもつれるというハードなレースとなりました。しかし、それでも誰一人あきらめる子もなく、ペアの子と時には息を合わせ、時には片方がリードしながら、助け合って走りきる姿は感動的でした。

また、1年生の「ダンシング玉入れ」では、1年生の子が踊っているときに、少しずつその踊りが団席の子どもたちにも伝播していき、最後には、ほとんどの子どもたちが一緒になって踊り出すというほほえましい姿が見られました。まさに、「**和知小学校の子どもたちが一つになった**」瞬間ではなかったかと思えます。

その他にも5、6年生の今話題となっている歌手の曲に合わせた組体操「和知スピリッツ」や元気いっぱい3、4年生の「ソーラン節」、きびきびした旗の動きが見事だった1、2年生の「いこう」の演技など、子どもたちは、これまで練習した成果を十二分に発揮してくれました。

もちろん応援合戦でも、勝敗はなくても、純粋に自分たちの団の仲間のために一生懸命応援をする姿は、まさにスローガンそのものの姿でした。

これらの子どもたちの姿を生み出した土壌には、和知小学校の保護者や地域の方々のおまわりと温かさがあることを忘れてはいけません。それは、本年度PTA本部役員の方の新たな取り組みとして導入した保護者対抗綱引きで、本当に大勢の方に参加してもらえたことで証明され、子どもたちに示すことができました。また、準備や片付けでも、卒業した中学生も含めて手伝ってくださる姿には、本当に頭が下がる思いでした。さらに観覧席の様々な約束事についても、マナーを守ってお互いが気持ちよく観覧できるように協力していただいたことに感謝しています。

この運動会を通して、開会式でもお話しした「**自分は一人じゃない。和知小学校の仲間の一人なんだ。**」という思いを子どもたちは持てたのではないかと確信しています。そしてその思いは、今年度大切にしている「パッテロースピリッツ」を育てることに確実に繋がっていると考えています。改めて和知小学校で一緒に生活できている幸せを、職員一同実感できた運動会でした。

パッテロースピリッツあふれる運動会になりました。

運動会スローガン「団結」

「全員で協力して一つ一つのことをやりきる」姿がいっぱいでした。



りりしい立ち方で校長先生や児童代表の話を聞く姿は、普段から大切にしている姿です。



高学年のきびきびとした系の動きは見事。おかげで会が滞りなく進みました。



もっている力を出し切ろうと競技に取り組む姿に感動しました。



素直に体全体で喜びを表現しあう姿がみられました。



「綱引き」も盛り上がりました。ご協力ありがとうございました。



そろった旗の動きが見事。かわいさ+りりしさが光る演技でした。



躍動感のある動きと元気な声で会場を大いに盛り上げました。



音楽にあわせて豊かに表現した組立体操は和知小の自慢です。

赤団「一心同体」



限られた時間でみんなが心を合わせた応援に仕上げたところが素晴らしいです。先頭に立って練習を進めた応援団の姿に感動しました。よいリーダーが育っています。

白団「白龍」





「勝っても負けても笑顔で終われる運動会にする」団長石井秀英さん、石井友菜さんの晴れやかな顔が印象的でした。運動会を機会に、和知小学校がますますパッテロースピリッツあふれる学校になることが楽しみです。

保護者のみなさまには観覧場所・タープ設置禁止区域等会場づくりに関わってご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。PTA運営委員のみなさまにはご多用の中、前日の準備、当日の片付け等、大変お世話になりました。これからも学校の教育活動を見守り、ご支援いただきますよう、お願いいたします。

夏休みたからもの展

8月31日(水)9月1日(木)2日間実施しました。ご多用のところ、200名以上の方にご参観いただきました。限られた時間でしたが、子どもたちの夏休みのがんばりがいっぱい詰まった研究・作品を多くの方に見ていただくことができました。ありがとうございました。

また、9月9日(土)10日(日)に開催された「加茂郡夏休み子ども作品展」には、次のみなさんの作品が出品されましたので紹介します。

【科学作品展入選】

1年	川合 蒼介	ひまわりのひまたちゃんはふしぎがいっぱい!	【銀賞】
2年	瀬瀬 倅都	水にうかせてみよう	【銅賞】

【社会科作品展入選】

4年	福田 杏光	牛にゅうの研究	【銅賞】
6年	大脇 白花	めざせ!岐阜県の名山 槍ヶ岳	【銅賞】

【夏季作品展入選】

1年	加藤 愛佳	せかいのこっき	
2年	田中 佑樹	キラキラピンホールカメラ	
3年	伊藤 琉希	歴史ノートと歴史の巻物	
4年	長瀬 帆乃香	リサイクルキャットタワー	
4年	富松 紗矢	身近にあるものよくだべるもののびっくりちしきノート	
5年	磯貝 太久斗	2017夏休み一日一作文	
5年	加藤 寛人	ぼくが飼っている虫	
6年	有賀 杏成	アルミ缶工作	
6年	佐藤 伊吹	中山道(岐阜)の宿場町に行く	

【読書感想文コンクール】

1年	愛知 由奈	アランハ	【特選: 県出品】
2年	飯田 咲優	ばあばは、だいじょうぶ	【特選: 県出品】
2年	村雲 穂佳	クレヨンからのおねがい!を読んで	【準特選】
3年	後藤 綺更	ヌチドゥ タカラ	
4年	福田 杏光	あきらめない	
5年	可児 萌	しっばいにかんぱい!	
6年	石井 友菜	私のヒーロー	
6年	三宅 花南	どんな困難でも立ち向かうことが大切	